

横浜市市民協働推進センター 2024年度事業計画



横浜市市民協働推進センターとは

- 設置：2020年4月
- 場所：横浜市市庁舎1階（2020年6月より）
- 運営：認定NPO法人市民セクターよこはま・横浜市市民局

市民協働推進センターは、横浜をより良くしたい市民の方々や、行政が重なり合う空間としてオープン。地域団体・NPO・企業・大学・行政など、組織の垣根を超えて、取り組みたい社会・地域課題や、気になるテーマで繋がり、協働して、未来をつくっていくための空間です。

社会・地域課題を解決するプロジェクトや、主体的な実践を一つ一つ積み重ねていく皆さんを応援し、コーディネートや伴走的な関わりを行うことで、横浜がもっと豊かに、暮らしやすいまちになることを目指します。



6つの機能

事業実施における視点

- ・協働・共創の一体的取組の推進
- ・各区市民活動支援センターとの連携・支援の強化
- ・市民活動支援の強化、ネットワーク化に向けた協働スペースの活用
- ・中間支援における人材育成及びセンターの専門性向上
- ・自治会町内会と市民活動団体との連携の好事例を取材し発信



1. 相談・提案する（総合相談事業）

1-1. 総合相談窓口

行政、市民団体、企業、大学など、様々な主体との協働について相談・提案をワンストップで受け付けるために総合相談窓口を設置し、相談対応や伴走支援、他団体とのコーディネートに繋げ、市民協働提案や団体設立、組織運営の強化を図ります。（目標：相談件数1,000件／年）

1-2. 市民協働相談会

社会課題解決への気づきや協働のヒント、人材発掘を共に考えることを目的として、ゲストと参加者で共につくり上げる場を設け市民協働が育っていくよう環境を整えていきます。（2023年度：「子どもの居場所」「地域コミュニティ」「防災」「地域の緑」）

①7/30：「若い人材が育つ組織とは」

対象者：マネジメントの問題や担い手不足を抱えている市民団体や自治会町内会など

②9/2：「企×地×学×民が連携する形～子どものためのまちを考える」

対象者：自治会町内会、大学生、企業、市民団体など

1-3. 市民協働提案事業の相談・伴走（説明会：新規）

市民局と共に市民協働提案事業（市民提案型、行政提案型）の伴走支援並びに、制度について理解を深めるために市民団体向けの説明会を開催します。（目標：市民協働提案事業に繋がる相談2件）



2. 知る（情報の蓄積・活用・発信事業）

情報発信

2-1. 情報発信

協働による社会課題解決のための市民活動や市民協働に関心のある市民や団体に、必要となる情報を届けるため、機能や役割といった基本的な情報の発信、協働事業など協働事例紹介、センターのイベント情報、助成金情報などを、ホームページやSNS、メルマガ、印刷物といった広報媒体の活用や、公開型イベントの開催などを通じて広く周知し、市民等に提供します。また、**自治会町内会と市民活動団体との連携の好事例を取材し発信します。**

（目標：メルマガ登録数5%増、地域好事例の取材・発信3件）

2-2. 情報誌発行

市民協働推進センターの取組や協働事例の紹介など、センターの更なる周知と協働推進を目的に発行します。

2-3. HP再構築（新規）

メニュー構成やコンテンツの見直しを行い、利用者視点で使いやすいHPを再構築する。コンテンツの充実を図ります。

2-4. PR動画制作（新規）



3. 学ぶ（人材育成事業）

3-1. 市民協働スタートアップ

協働を理解し、社会・地域課題の解決に関わる人材を育成するために、協働の歴史や横浜コードに関するレクチャーや、事例紹介、チームビルディング、フィールドワークに関するレクチャー、実際の現場でのフィールドワークを含む連続講座を実施します。（4回開催予定）（目標：協働への理解が進み、意欲が向上している人の割合60%）

- ①5/29 「市民協働とは、横浜コードから今まで」（中島智人教授・産業能率大学）
- ②6/12 「一緒に取り組むこととは」（伊吾田善行・市民協働推進センター長）
- ③6/19 「地域を知るためのフィールドワークとは」（那須聖教授・東京工業大学）
- ④7月～9月 「フィールドワーク」



3-2. 他都市の好事例共有セミナー（新規）

中間支援を担える団体及び人材を育成するため、他都市を視察の上、その事例を活用し、コーディネート等に関するスキルを学ぶセミナーを実施します。他都市で行っている協働に関する取組、類似センターの取組を取り上げ、当市にて取り組むことを検討します。（3～4都市視察予定、セミナー2回開催予定）



4. 出会う (交流促進事業)

4-1. ミズベサロン

社会・地域課題解決に関心のある市民が顔を合わせて、自身の考えを共有し、参加者同士がつながる場としてサロンを開催します。交流から人材育成事業に連携し、協働の担い手育成も目指していきます。(11月開催予定)

4-2. 協働HUB

市内の公益事業者同士でお互いの事業や強みを知り交流することにより、まずは**目的が近い組織や類似事例の連携・協働事業を検討する場を提供し、連携協働事業の創出を推進します。**(2月開催予定) (目標：参加10者)

4-3. ヨコラボ2024

市内の協働・共創事例を紹介・発表し、当事者や関係者がディスカッションなどを行うことにより、協働・共創の仕組み化にヒントとなるものを共有します。
(10月開催予定)



5. 学ぶ（市民活動支援事業）

5-1. 市民活動（NPO）入門セミナー

市民活動やNPO法人設立に関心がある、または設立を具体的に検討・準備している団体・個人を対象に、**市民活動団体立ち上げのノウハウや心構え、協働の視点などを学ぶため**に、入門セミナーを実施します。（1月調整中）

5-2. 市民活動セミナー

市民活動団体の組織基盤強化につなげるため、活動に必要な「会計」、「PR」に関する学びの場を提供します。

- ①7/17「会計セミナー」講師：吉澤寿朗税理士（税理士による公益活動サポートセンター）
- ②12/4「PRセミナー」

5-3. 市民活動アピールデイズ

低層部のイベント開催に合わせ、市民活動団体と協力してPRイベントを実施し、低層部の賑わいを創出しつつ、活動を広く社会に発信すると共に、市民協働推進センターの認知度を向上させます。

（5月、8月、10月、12月）



6. 連携する（各区市民活動支援センター連携・支援事業）

6-1. 日常的な運営支援

各区市民活動支援センターの機能強化のために、寄せられる日常的な運営に関する相談への対応や、自治会町内会と市民団体・NPOとの連携事例を取材し共有、市内のNPOやネットワーク組織の情報を共有します。今年度は、数区訪問の上、ニーズにあった協力支援を行っていきます。

6-2. ネットワーク会議（年3～4回程度）

区役所担当職員・市民活動支援センター間の情報共有やスキルアップを目的とした研修等を、市民局と協働して実施し、市民活動支援センターの機能強化を支援します。今年度は、他都市への先進事例視察により収集した情報の研修への活用、また、自治会町内会と市民団体・NPOとの連携事例を取材し共有します。（再掲）

6-3. 機能強化事業との連携（新規）

横浜市と受託事業者で実施する打合せ、プロジェクトにオブザーバーとして参加し、事業の実施状況の進捗・内容に関して横浜市及び受託事業者と連携し、把握することで、日常的な運営支援につなげます。



7. 活用する（協働を促進するスペースの活用）

7-1. 団体登録

協働推進を目的に団体登録制度を実施します。登録時にヒアリングを行うことで協働の取組や種、課題を聞き取り、コーディネート対応に繋がります。登録後はシステム管理すると共に、情報はセンターからの発信にも活用します。

（目標：登録団体数20団体、団体登録更新率70%）

7-2. 貸館・窓口対応、スペース運営

協働ラボ並びにスペースABの利用にあたって、受付や利用票の受け渡し、機材貸し出し、利用サポート等を行います。積極的にコミュニケーションをとり、プロジェクトの把握や情報提供等のサポート

- ・協働ラボのイベント・セミナー等利用予約受付開始
- ・開館時間変更（平日夜間18:00～20:00予約制）

7-3. 協働ラボ予約システム導入（新規）

予約状況をリアルタイムで確認できる環境を提供することにより、利用の利便性を図ります。



8. 連携する（協働共創の一体的取組）

協働・共創の一体的な取組をさらに進め、多様な主体による連携を広げ、課題解決を目指すとともに、協働・共創の理念や活動を発信するイベント等を実施し、市庁舎低層部の賑わいづくりにもつなげていきます。

8-1. 協働・共創の一体的な取組のアクションプランに基づくセンター事業実施

- ・市民協働相談会（再掲）：企業への参加案内や、テーマ提供として企業との協働要素を付加します。
- ・協働スタートアップ（再掲）：セミナーやワークショップにて企業との連携事例の紹介などを実施します。
- ・他都市の好事例共有セミナー（再掲）：企業と地域や市民団体が連携した事例を収集しセミナーで紹介します。

8-2. イノベーションダイアログ（仮称）

対話とマッチングの場であり、庁内部署、民間企業、NPO、地域プラットフォームなどが集まって、提示された社会課題の解決に向けて、対話を通じた連携の可能性を探ることを目的にした企画に、市民局と政策経営局と連携し、開催協力します。（1～2回開催予定）

8-3. ヨコラボ2024（再掲）

市内の協働・共創事例を紹介・発表し、当事者や関係者がディスカッションを行うことにより、協働・共創の取り組みのヒントになるものを共有する。（10月開催予定）



協働とは、**信頼関係**をもとに、
共通の目的である社会・地域課題の解決に向けて、
様々なセクターがお互いの強みを出し合い、
役割分担を明確にし、
時に**弱みも補完**し合う中で、
協力し合うものと考えています。

協働による社会・地域課題解決のためにご協力よろしくお願い致します。